

# 令和2年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

## 図画工作科

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
二年	<p>○水彩絵の具で「虹色カタツムリ」を描き、色の混色を楽しんでいる。</p> <p>○虹色カタツムリと色画用紙の背景を組み合わせて表現することを楽しめた。</p>	<p>○水彩絵の具の特性を理解し、楽しみながら身につけていけるように指導する。</p> <p>○造形活動の基礎として、紙の特性を理解し、はさみやカッターの正しい使い方を身につける。</p>	<p>○様々な描画材や方法を採用して、子どもたちが発想の幅を広げて表現していけるような題材を選ぶ。</p>		
三年	<p>○「ハッピー小物入れ」の制作では空き瓶をベースに使い、中に入れたいものや使いたいイメージに合わせて形を考え、絵の具を練り込んだ紙粘土で飾りをつけ、小物入れを作ることができた。</p>	<p>○楽しく使いやすい小物入れに入れるものや置く場所に合わせて、形や大きさなどをいろいろ試ながら考える力を養う。</p>	<p>○様々な材料を使い、表現の多様性を生かして、自分の表現や発想の可能性を見出せるように、題材や使用する用具の工夫していく。</p>		
四年	<p>○「紙のマジシャン」ではカラフルな紙の帯を、くるくる丸めたり、折り曲げたりしながらパーツを作り、ボンドで一つ一つ貼り付けながら画面を構成し、自分の作りたいものをイメージに合わせて自由に楽しく作ることができた。</p>	<p>○表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしながら、自分なりの表し方を工夫する力を身に付ける。</p>	<p>○様々な色画用紙の帯を用意して実際に触れたり感じたりしながら自分の表現方法を試し、広げていけるような場の設定を工夫する。</p> <p>○さまざまな技法があることを折に触れて紹介する。</p>		
五年	<p>○「木製糸のこパズル」では電動糸のこぎりを使い、丁寧に板を切り抜き自分なりの表現方法で制作に取り組むことができた。</p> <p>○友だちの発想や工夫に学び合う姿勢が見られた。</p>	<p>○想像力を働かせて発想し、材料等の特徴をとらえて、表現方法を工夫したり、パズルの図案などの構想を考えたりする力を養う。</p>	<p>○題材を工夫し、材料や用具などの環境整備に努めることで、児童がこれまでの造形活動の経験を振り返り、自分の想いや考えを、表現できるようにする。</p>		
六年	<p>○「名前の道」では、自分の名前を曲線や直線でつなげてデザインし、そのまわりを好きな色のグラデーションで描き、構想から効果的な配色を考え、細部までこだわり、完成させることができた。</p>	<p>○課題に対して、自分なりに計画を立てて、名前の線の形や流れ、色の構成など工夫し、想像力を働かせて描いていく力を養う。</p>	<p>○ワークシートを活用して、デザインの計画を立てたり、描きながら完成までの手順や組み立て方を考えたりするように指導し、完成の喜びを味わえるようにする。</p>		

